

がんばる人、地域を写真で応援するフリーペーパー

Free Paper 101



無料

Vol.21

2013.12.-2 発行
発行：Mc101 河野拓

E-mail: mc101@mc101.jp

http://mc101.jp/ Twitter: @mc101_jp

2~3面



Artist Selection 蓮音まゆ

4~5面 がんばれ！ローカル線



三岐鉄道
北勢線

11月に行われた花火大会を2つ紹介します。

11月9日 第26回 やつしろ全国花火競技大会 (熊本県八代市)



▲九州の部 スターメイン 優勝
塚本花火工業 (福岡県)
「翼をください」



▲ミュージック花火
紅屋青木煙火店 (長野県)
「Helios (ヘリオス)」



▲協賛花火
5号玉 10号玉 130連発
(の一部)

11月23日 第108回 長野えびす講煙火大会 (長野県長野市)



▲第22回全国十号玉新作花火
コンテスト最優秀賞
「昇り曲導付 銀彩恋
錦先七度変化菊」
(大曲花火化学工業)



▲サタデーナイトフィーバー
十号玉八号玉七号玉
108連発



▲打止
十号玉十五発一斉打

【制作・配布ご協力店舗】

利久 RIKYU

牛たん 炭焼 利久 東七番丁店

仙台駅東口から徒歩3分
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-3-22
Tel/Fax: 022-296-3577
http://www.rikyu-gyutan.co.jp/ (オンラインショップ)
http://www.gnavi.co.jp/rikyu/ (店舗紹介:ぐるなび)

※ 関東地方にも8店舗あります。
(イオンレイクタウン店・エソラ池袋店・赤坂店・アトレ吉祥寺店・
仙臺たんや利久 東京駅店・渋谷ヒカリエ店・東京ソラマチ店・ルミネエスト新宿店)







2013年10月25日
新宿 Cat's hole にて撮影

蓮音まゆ Mayu Hasune

Mc101 Artist Selection

Mc101 でライブ撮影を行っている、
おすすめのアーティストさんをご紹介します。

主な出演会場：

Green World Cafe (東京都稲城市)、leaf room (東京都世田谷区経堂)、
荻窪 BUNGA (東京都杉並区)、など ストリートライブ多数

公式サイト：<http://hasunemayu.syncl.jp/>



▲ 2013.-8.-8
恵比寿天窓 .switch にて

Q1. あなたの「人として」の「こだわり」は 何ですか？

人は、自然が生み出すエネルギーと人が、生み出すエネルギーの両方が無いと生きていけないと、思います。

自然が生み出すエネルギーは、太陽や、月、夜と朝、海や風や、森や大地、大気、地球、宇宙。自然の恵み。生きてるものすべて。

人が、生み出すものは、人がつくるすべての物や道具や、愛や優しさや、エンターティメント、すべて。

そして、周りの環境や、家族や、友達、仲間に、関わるすべての人に、感謝を忘れずに、いたいと思います。

なかなか上手くはできませんが。



▲ 2013.10.14 leaf room にて

Artist Selection、今年は稲城のGreen Wolrd Cafeによく出演されてる方に多く出て頂いていますが、今年としては最後の紹介は蓮音まゆさんです。

スピリチュアル・ロック 森の歌うたい

まさに見た目が妖精の雰囲気たっぷりですが、音楽も森によく合うんです。

そして、Mc101 としても大変お世話になっているデザイン・フェスタ、そしてデザイン・フェスタ・ギャラリー原宿にも大変造詣の深いアーティストさんで、ご自身が被写体となったポストカードを展示・販売されていたりします。

12月8日、渋谷 TAKE OFF7でのワンマンライブを控え、連日懸命に路上ライブに励まれています。

全身に魂を込めて音楽を表現する蓮音まゆさんにもいつもの3つの質問に答えてもらいました。



▲ 2013.10.13
小沢城址の森 (稲城市) にて

Q3. 読者の皆様には何かありましたらお願いします。

私の歌を、私の音楽を、聴いてくれたひとが、happy になれたり、癒されたり、幸せな気持ちに、なれたりしたら、嬉しいです。そんな歌を、音楽をつくっていきたいです。

そしてこのフリーペーパー 101 を手にとってくださった方、ありがとう!!!!!!



▲ 2013.10.14 leaf room にて
ピアノカ伴奏 かとささん

【CD】シングル「晴耕雨読」

2013年12月8日ワンマンライブ(下記)で発売開始
3曲入 1000円、ライブ会場または通販(下記)で販売
c/w おおきなさかなをつかまえよう
通販サイト「蓮音まゆ Merchandise」
<http://mayuhasune.cart.fc2.com/>



【当面のライブ予定】詳細は公式サイトまたは Facebook ページにてご確認ください。

12月8日(日) 渋谷 TAKE OFF7 (ワンマンライブ・下記参照)
12月22日(日) 井荻チャイナスクエア
12月25日(水) 荻窪 BUNGA
12月29日(日) 名古屋 アスナル金山
12月30日(月) 横浜 伊勢佐木町 CROSS STREET

蓮音まゆバンド単独コンサート SPIRITUAL ROCKS 世界中の音楽を ひろいあつめて メリーゴーランド

【場所】渋谷 TAKE OFF7 <http://kox-radio.jp/takeoff7/>
渋谷区宇田川町 32-12 アソルティ渋谷 B1F Tel: 03-3770-7755
渋谷駅ハチ公口から徒歩 6 分

【日時】2013年12月8日(日) 開場: 18時30分 開演: 19時30分

【料金】3000円 (drink 別)

【出演】蓮音まゆバンド vo/g: 蓮音まゆ
サポート g: 須江篤史 (AJISAI) b: 小倉諭史
key: 長谷川博之 (和心 creition) drum: BEACH

【チケット】1. 蓮音まゆストリート、ライブ会場で手売り販売中
2. e-plus チケット セブンイレブン、ファミリーマート発売
(右記 QR コードより)
3. 通販サイト「蓮音まゆ Merchandise」で郵送 GET
<http://mayuhasune.cart.fc2.com/>



Mc101 では、ライブ写真の撮影に際して必ず事前にアーティストさん及びライブ会場、イベント主催者さんの了承を得た上で行っていきます。会場の後方または側面壁際に構え、フラッシュは使わず、状況に応じてシャッター音の出ないカメラを使用するなど、他のお客様にご迷惑をお掛けしないよう努めています。

次号 Vol.22 の Artist Selection は決定次第 Twitter 等でお知らせします。

がんばれ！ローカル線 三岐鉄道 北勢線

第8回 Sangi Railway Hokusei Line



名所めがね橋ごと明智川拱橋を渡る北勢線電車
2013.11.17 楚原～麻生田間にて撮影



「がんばれ！ローカル線」第8弾は三重県を走る三岐鉄道北勢線です。JR・近鉄の北勢線はかつて軽便鉄道として建設された経緯から、線路幅が762mmと一般の鉄道(JR在来線で1067mm)よりも狭くなっています。

かつては近鉄北勢線でしたが、2003年に三岐鉄道に移管され、その後合理化・近代化が大々的に進みました。駅数も整理され、楚原～麻生田間にあった上笠田、麻生田～上げ期間にあった六石の2駅は廃止、六把野と北大社の2駅は東員駅に統合、大泉東と長宮の2駅は大泉駅に統合されました。全駅に自動改札が整備され、無人駅ではインターホンで係員と会話して非磁気券を確認するシステムも設けられています。

電車は基本、黄色とオレンジの三岐鉄道カラーですが、202号を含む3両が最近、クリームと緑の旧三重交通カラーに塗り直されて走っています。



▲旧三重交通カラーとなったク202号他。
10月29日から運転を開始した。
2013.11.16 東員～大泉間にて撮影



▲阿下喜駅を発車する電車。バックは藤原岳。
2013.11.-8 撮影



▲北勢線の代表選手、モ270形。3両編成でも4両編成でも電動車は阿下喜寄りの1両のみ。
2013.-5.-3 東員～大泉間にて撮影



▲終点阿下喜駅横には近鉄時代に使用されていたモ226号が保存展示されている。
2013.11.-8 撮影



▲塗り替え前の202号他。
三岐鉄道移管10周年のヘッドマーク付き。
2013.-5.4 馬道駅付近にて撮影



▲大木跨線橋から俯瞰
2013.11.30 東員～大泉間にて撮影



▲めがね橋のすぐ近くにある、もう一つの土木遺産「ねじり橋」こと六把野井水拱橋
2013.11.17 楚原～麻生田間にて撮影

Design Festa Vol.38 ありがとうございました。



まず、オープンが4時間遅れの15時となってしまったこと、深くお詫び申し上げます。確かに直前の州の残業の量も多かったのですが、原因は別のところ、つまり、同日発効の本紙の編集が終わらないとほぼ展示の準備作業に手がつかなかったところにもあります。なので、次回以降はこのあたりのバランスをよく考えたいと思います。

さて、今回は「沿岸の近況」と題して、仙台から八戸までの三陸沿岸を走る線区または沿岸に向かう線区の列車、走っていない場合は代行または振替バスの写真を展示する、ということをやりました。

一言でいうと上記の通りですが、とてつもないパワーが必要になりました。

今までは「普段撮ってきた写真の蓄積の中から選んでデザフェスで展示する」でしたが、今回は「デザフェスに展示すると決めたテーマに合わせ、蓄積の中で使える写真は使うし、足りない分は追加で撮影する」という形になりました。

結構スケジュール上の無理もありましたし、周囲の皆様の多大なるご協力も得ました。

見てくださったお客様の一人でも、東北へ、三陸へ出かけてくださればありがたいと思います。今回からデザフェス出展は抽選制になりました。当たらなければ出展できません。また出展出来た際には何卒よろしくお願いいたします。



▲ furani さん
2013.11.14
赤坂グラフィティにて撮影

【Mc101 撮影協カイベントのお知らせ】

furani

10th ワンマンライブ ふらにはいたため vol.10

帰ってきたオーケストラ~~ラ~~ライブ

furani さん 10 年目、10 回目のワンマンライブは弦楽器、管楽器など総勢 14 人の豪華ミニオーケストラ編成でお届けします。

【場所】座・高円寺 2 (高円寺駅北口より徒歩 5 分)

【日時】2013 年 12 月 23 日 (月祝)
開場 16 時、開演 16 時 30 分

【チケット】3500 円 (当日 4000 円) 全席指定
事前購入のみの「ペアチケット割引」あります。
furani さんライブ会場での直接購入、
郵送購入に限り座席の指定が可能です。
詳しくは furani さんのブログをご覧ください。
<http://furaniblog.jp/>



伊達に旅する写真集

～仙台・宮城へ出かけよう～

発売中!! 1 冊 800 円 (うち寄付金 300 円)



A5 判 32 ページに、仙台・宮城の鉄道・観光写真を凝縮しています。
売り上げのうち、1 冊 300 円分については、宮城県を中心とした被災地支援活動に活用して頂くよう、寄付を行います。(Mc101 出展の展示会場、牛たん炭焼 利久 東七番丁店で販売。他は河野までお問い合わせください。)

ミニ写真集

秩父路総天然色

～電車に乗って、出かけよう。～

発売中!! 1 冊 300 円



Design Festa Vol.35 での展示のコンセプトそのままに、秩父路を走る電車の色と観光地のイメージの色を対比させて B6 版 16 ページに纏めました。Mc101 出展の展示会場にて販売。または河野までお問い合わせください。

配布ご協力店大募集!!

フリーペーパー「101」は、カフェ、ライブハウス、ギャラリーなどを訪れるお客様に気軽にご覧頂けるフリーペーパーを目指しています。現時点ではこれといった御礼も出来ませんが(せめてお名前だけでも紙面で紹介させていただきます。)、配布にご協力頂けるお店の方もしくはアーティスト様、何卒、メール、Twitter で、あるいは直接お会いしたときなどお声掛け頂きたく、宜しくお願い致します。

【Vol.20 配布ご協力ありがとうございます。】(順不同)

- ★牛たん 炭焼 利久 東七番丁店様 (宮城県仙台市) ★ホシカワカフェ様 (埼玉県熊谷市)
- ★恵比寿天窓 .switch 様 (東京都渋谷区) ★赤坂 Graffiti 様 (東京都港区)
- ★代官山 NOMAD 様 (東京都渋谷区) ★Green World Cafe 様 (東京都稲城市)
- ★幡ヶ谷 36° 5 様 (東京都渋谷区) ★真昼の月夜の太陽様 (東京都新宿区)
- ★Mt.RAINEAR HALL SHIBUYA PLEASURE PLEASURE 様 (東京都渋谷区)
- ★Free Ride Cafe 様 (愛知県半田市) ★八木橋百貨店様 (埼玉県熊谷市)
- ★leaf room 様 (東京都世田谷区) ★ふわライブ様 ★相模の風 THE めをと様

がんばる人、地域を写真で応援します。

Mc101 について

鉄道・音楽ライブ・花火などを中心に写真撮影・展示を行い、撮影活動を通じて、被写体となる方々や地域を応援出来たら、と願っています。

私の原点である国鉄(現JR)101系電車への敬意を込めつつ活動を行っていきたく、という意味を込め、名称をMc101と致しました。McはManiac Cameraworksの略ですが、鉄道の世界においてはモーターと運転台を共に有する制御電動車(クモハ)を意味する略号でもあります。

引き続きご愛顧のほどよろしくお願い致します。

あとながき

作業用のPC不具合により発行が1週間も遅くなり、特に、ワンマンライブまで1週間となった、今回のArtist Selection 蓮音まゆさんには深くお詫び申し上げます。前号でも申し上げた通り、12月はお休みをいただきます。色々見直しを図ったうえで、来年、新たに出版します。少し早いですが、今年1年間のご愛顧、誠にありがとうございました。

